

事業所名

発達支援施設はじめての一步古賀西事業所

支援プログラム（参考様式）

作成日

令和6年

8月

26日

法人（事業所）理念	障がいがある「なし」に関わらず、ひとりひとりの個性を大切にしながら、将来、子ども達が人として自分の価値を見出すことが出来る活動を展開し、多くの「成功体験」や「失敗体験」をすることで、子ども達の「やる気」「自信」「自己肯定感」を強め、地域・社会の中で人と繋がりが自分らしく生きていくことが出来る力をつけていく。				
支援方針	踏み出した一步（結果）も大切だが、その一步を踏み出すまでの「過程」や踏み出そうとする「勇気」や「決意」を大切にしたい。支援者は子どもと一緒に「過程」を歩んでいく中で、「勇気」や「決意」をもつことが出来るように支援・サポートしていく。 ・日々の活動プログラムの中に、「成功・失敗」といった体験が出来る機会を意図的に作り出し、誉める機会を作る。 ・たとえ「失敗」したとしても結果の評価やプロセスの評価ではなく、次に向かう姿勢や気持ちにスポットを当ててほめる。 ※誉めるときは、具体的に言葉にして伝える。				
営業時間	9時	0分	19時	0分	送迎実施の有無 あり なし
支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	運動クラブ・ダンスクラブ・サッカークラブ・サポート学習・生活クラブ			
	運動・感覚	運動クラブ・ダンスクラブ・サッカークラブ・レクリエーション活動			
	認知・行動	運動クラブ・ダンスクラブ・サッカークラブ・レクリエーション活動・生活クラブ			
	言語 コミュニケーション	運動クラブ・ダンスクラブ・サッカークラブ・サポート学習・生活クラブ			
	人間関係 社会性	運動クラブ・ダンスクラブ・サッカークラブ・サポート学習・レクリエーション活動			
家族支援	保護者のネットワーク作りの為に土曜日にママカフェを開催していく。内容等は随時検討し決まり次第、利用者家族や障害福祉課、子育て支援課、行政サービスの発達ルーム等に情報発信していく。	移行支援	・姉妹施設との定期的な交流会の実施（児童発達支援・放課後等デイサービス） ・地域にある他施設との交流会の検討・実施		
地域支援・地域連携	2市1町（古賀市、福津市、新宮町）の連携会議の場に積極的に参加し情報交換、共有を行うことで各施設や関係機関との連携強化を図っていく。また、市主催の研修等にも積極的に参加し情報収集に努める。	職員の質の向上	・長崎大学「高度人材育成プログラム」研修希望者のみ実施。 ・月1回/事業所ミーティングを実施 ・オンラインでの研修がある際は、積極的に受講を進めていく。		
主な行事等	<ul style="list-style-type: none"> ・年1回 キャンプ(1泊2日) ・公共交通機関を活用した外出(学年別:年2~3回) ・野球観戦 ・夏祭り ・スポーツ大会(親子参加型) ・避難訓練(火災・地震・風水害) ・地域の祭りイベントへの参加(ダンスクラブ) 				